

第3回学校運営協議会議事録

1 日 時：令和5年2月17日（金）15：00～16：00

2 場 所：本校リスニング室

3 出席者：委員9名（大学教授等、自治会代表、行政関係、大学教授等、校長、事務長、経営企画課主任、総務課主任、教務課主任）オブザーバー3名（生徒会執行部（会長、副会長、監査委員））

4 内 容

（1）開会の言葉（経営企画課主任）

資料の確認をする。「令和4年度第3回学校運営協議会」と書かれた本誌が一部、「全体反省会議」と書かれたものが年度末反省会議の資料となる。A4一枚資料の補足が渡っているの確認をお願いしたい。

（2）会長挨拶

開校60周年記念大変おめでとうございます。コロナ禍の中、立派な記念式典を実施されたこと、大変嬉しかったと思う。本日は一年間の総括ということで、学校関係者評価をすることがメインとなる。忌憚のない活発なご意見をいただければいい会議になる。よろしくをお願いしたい。

（3）学校長挨拶

日頃より本校の教育活動に多大なるご指導ご支援いただきましたこと深く感謝申し上げます。また、60周年の式典に参加いただきありがとうございます。コロナ禍で参加者を絞って式典を実施したが、地域からの期待や背負ってきたものを全職員、生徒で確認することができた。

今日は、今年度最後の学校運営協議会であり、次年度につなげる大切な役割がある。進め方を具体的に説明する。資料14ページに令和3年度の本校の学校評価報告書がある。一年前に作成して県に報告したものだ。これの4年度版をこの会議を踏まえて作成することになる。「イ 学校関係者評価」に書くべきコメントを皆さまからいただきたい。昨年度は書面開催ということで、書面で記入していただいたが、今回はその前提となる資料説明、質疑も行うので、ご意見をいただきたい。「ア 今年度の学校概況」は学校側からになるので、遠慮せずに質問いただき、「イ 学校関係者評価について」でそれぞれのコメントをいただきたい。重点目標が5つがある。全てにコメントをいただきたいが、全員が全てにとというのは厳しいので、最終的に誰も触れない項目がないようお願いしたい。

改善方策や総括的な評価については、意見を踏まえて我々で検討するということになる。「ウ 次年度に向けて」は、フリーで様々な切り口でお話しいただきたい。今回も代

表生徒がオブザーバーで参加している。生徒も自分が感じていることを率直に話してほしい。

(経営企画課主任) 協議の進行は会長にお願いしたい。

(4) 協議

ア 今年度の学校概況について

(会長) 円滑な協議運営に協力いただきたい。

(経営企画課主任) 「学校関係者評価」については、この後の「学校関係者評価について」にも繋がる部分を中心に説明する。1、2ページは令和4年度の学校経営計画となる。3の目指す学校像を学校評価報告書の評価項目としている。本校は校訓をもとに育てたい生徒像を掲げている。それを達成するために数値目標を定めている。具体的な方針については紙面の通り。1～7ページについては第1回の学校運営協議会でお示ししたものである。スクールポリシーと特色化魅力化ビジョンは県立の全ての学校で作成してHPなどで公表しているものだ。

教育活動に関するアンケートは、11月の3回目の定期考査の後実施したもので、指導の途中経過のアンケートとしてご覧いただきたい。特徴的なところを挙げる。1学年は「本校に入学してよかった」という生徒が9割を超えている。逆に昨年と比べて「読書をするようになった」という項目は28%も下がっている。1学年の朝読書の時間が進路関係の朝読書になったことが影響したのではないか。このデータを見て1学年もこれから読書指導に取り組むところだ。

2学年は「勉強が楽しくなった」という項目で肯定的な意見が10%増加。「社会や人間のあり方について考えるようになった」がマイナス6.6%。また、一年生の時は、読書の項目が高かったが、それと比べて、マイナス13.8%と少し下がっている。

3学年は2年半経過した結果なので、例年数値は高く出る傾向にある。「学習意欲が高まった」という項目は肯定的な意見が9割を超えている。また、3年生は進路指導で先生方に指導していただく機会が多くあるため、「先生が親身に指導してくれる」を9割の生徒が肯定的に答えている。1～3学年の比較で確認すると、「日々の授業に期待すること」は、3年生になると受験対策を挙げているが、1、2年生はわかりやすさを重視している。

続いて学校評価報告書について。「ア 『授業で勝負する』学習指導の充実」は、年間2回先生方の授業を生徒に4点満点で評価してもらっている。3.5はかなり高い目標だが、今年度3.55、昨年度3.52よりも高い結果で、目標を達成している。「イ 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進」は教育に関するアンケートで、「子供は明るく学校生活を楽しんでいる」と答えた保護者の割合を資料としている。86%の保護者に肯定的な意見をいただいている。「ウ キャリア教育の充実と生徒の希望進路の実現」については、

教育に関するアンケートで、「本校に入学後、社会や人間のあり方について考えるようになった」と答えた生徒の割合。先ほど2年生でこの項目に肯定的に答える生徒の割合が少し下がっていると説明したが、トータルで見ると86.7%が肯定的に答えている。目標としては達成だが、昨年度より下がっているので、改善していきたい。「エ 地域とともにある魅力ある学校づくりの推進」は達成指標を教育に関するアンケートで「学校の教育方針をよく分かっていると答えた保護者の割合」を60%としていたが、今年度59%だったので目標達成できずとした。「オ 学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめ防止」の指標は教育に関するアンケートで、「本校に入学後、友人関係がよくなった」と答えた割合の75%を達成指標としており、87%が達成したと答えているため達成したとした。県教委からの指導もあり、昨年度と違って、一つの項目に対して達成指標の個数を、一つとしている。ご承知おきいただきたい。

保健室の利用状況について、今年度は新型コロナウイルス感染症の対応で職員が濃厚接触者になったことから、体調不良の生徒は保健室での静養はせず、緊急時または相談時のみ保健室を利用することにしてきた。1月末までの時点で全学年合わせて213名コロナ陽性者が出ている。11月が最も多く46名の生徒が感染している。全国的な感染拡大と同じ傾向であった。生徒の家庭内からの感染が多くあった。ただし、本人が感染してからの活動を調査していくと、部活動等に参加していることもあり、濃厚接触者は累計で1299名であった。

(会長) 何かご質問があればお願いしたい。5つの項目のうち4つを達成しているというお話だった。生徒諸君も何か質問があれば遠慮なくお願いしたい。

(委員) アンケートの取り方はオンラインか？紙でとったのか？

(経営企画課主任) 今年度はオンライン。昨年度からオンラインにしている。2020年度は9割を超えて回収できていたが、オンラインにすると保護者は8割程度の回収率。

(委員) スマホでアクセスするタイプか？

(経営企画課主任) そうだ。

(会長) 生徒は全員回答か。

(経営企画課主任) そうだ。

(会長) 生徒から、今年度の学校生活の振り返りなどをお願いしたい

(生徒会長) 昨年度より活動の幅が広がった。部活動の遠征、文化祭、他校との交流など、充実感が高まったが、昨年度と比較してコロナ対策が緩んでいる。距離の近さ、部活内でのマスクなど。それで、全国的な感染状況と合わせて増加したのではないか。生徒会でも感染を抑えるように呼びかけていきたい。来年度にも参考にしていきたい。

(会長) コロナ対策と学校活動の調整は難しいのだろう。

(委員) 自宅待機の生徒へのケアはどういう形で行われているか。

(経営企画課主任) 今は教員一人1台オンライン配信用のPCが配布されたので、配信したり、先生によっては撮りためたものを提供している。

(委員) 授業とは別に録画しているのか？それを見た生徒の感想は？大学でも同じ形で配信しているが、テストの点数などチェックしないと、どれだけ効果があったかわからない。

(会長) 本日参加の生徒で授業配信を見た人はいるか。

(生徒会長) この三人にはいない。英語表現でオンライン授業をやっていたが、画面を通してコミュニケーションしていた。それ自体は問題なかったが、準備に時間がかかっていたようだ。

(会長) ちなみに成績に差が出たとかという調査はしていないのか。

(経営企画課主任) 様々な生徒が別々のタイミングで待機になるので、追跡はできていない。

(委員) 「エ 地域とともにある魅力ある学校づくりの推進」の達成率59%は、何がどのように悪かったのか。

(経営企画課主任) 昨年度保護者が「学校の教育方針をよく分かっている」の項目で、「思う」、「やや思う」と答えた割合を合わせると63%近くあるが、今年度は59%だった。コロナで来校できる機会が減っている。来年度は中学生への学校説明会も開催したいと思っている。なんとか学校外の方々に三高の魅力をPRしていきたい。また、HPの他にnoteでの配信も始まっている。次年度は掲載頻度を上げて、学校の様子を地域や保護者にも伝わるようにしたい。生徒会にも協力いただいて、生徒からも発信してほしい。

(会長) コロナの影響があったということだ。

(委員) カウンセリングの状況だが、具体的な相談内容や人数は。増加傾向なのか。推移がわかるものはあるか。

(校長) 大まかにいうと増えている。二つの視点がある。比較的生徒の中でカウンセリングや大人に悩みを相談することへの抵抗が下がっていることと、実際に様々な悩みを抱える生徒が増えているということである。内容については、単純に学習面ということもあれば、自分の生き方、ということもある。

(会長) 悩みの種類は色々あるということだ。

(委員) 学年によって傾向はあるか。減っていくなど。継続して受ける生徒もいるのか。

(校長) 人それぞれだ。一年生で通っていても落ち着く生徒もいるし、逆の生徒もある。数字で傾向はつかめても、生徒の悩みは色々である。

(会長) いずれ増えていることは間違いない。コロナの影響もあるのか。

(校長) コロナの影響があるのも間違いないだろう。

イ 学校関係者評価について

(会長) 各委員から指標に対して、評価は難しいと思うが、感想などをお話しいただきたい。

(委員) 達成指標で気になるところがある。エの評価に「保護者が分かっている」を入れていいのか、保護者は控えめに答える。自分は知らなかったなという反省の念も込めているのではないか。この前の理科の発表も二組も最優秀が出ているが、保護者や地域の方はきっと知っているだろう。生徒が活躍しているニュースに触れた、などにすればよかったのでは。低く出るような設定になっているのではないか。また、noteは一般の人はあまり知らないから、うまくリンクを貼るなど仕組みを工夫する必要があるだろう。

(委員) 令和3年度の学校評価報告書の中に「地域との繋がりが見えにくい」とあるが、令和4年度はこれに対して何か対策をしたのか。

(校長) 執行部が盛岡高校生市議会に参加した。何人参加したのか。

(生徒会長) 生徒会ほぼ全員、高校生サミットにも参加した。

(校長) 高松町内会とは連携できてない。

(委員) ぜひやってほしい。三高の動きが見えてこない。

(経営企画課主任) 夏に緑ヶ丘小学校から方言についてのアンケートに答えて欲しいと依頼があった。それをテーマにした演劇を作ったそうで、3月2日に本校に来て演劇を上演するので、高校生が観劇する。

(会長) 地域のとらえをどうするかという点は、前の会議でも話題になった、盛岡の地域、高松のみなさんとも連携していきたい。

(委員) 理数探究コースの課題研究で高松の池の水質調査など地域に根ざした活動をしているので、それをどう見せていくかも大切なのではないか。

(委員) 3年生になるとかなり良くなっているということを受けて、先生方のご努力があって学校運営が行われていると感じた。前回地域との繋がりが見えないと指摘したが、ぜひそのところはなんとか力を入れていただきたいと思う。地域とともにある魅力ある学校づくりの推進の達成の項目というのが、地域との関わりがどのようになっているのかわかるようになってきているというのが大事なのではないか。

高校生議会は、三高生の皆さんは素晴らしいと思った。生徒会長と同じ分科会だったが、短時間で要旨を整理して発信していて、本当に素晴らしかった。ぜひまた高校生のみなさんと意見交換をしたい。市政にも参考になる意見をたくさんいただいた。

(会長) それについてどうか。

(生徒会監査) 初めて議員と交流する場に参加したが、自分が考えているより議員は地域のことを考えていることを理解できた。自分の言葉で発信することの大切さを知った。

(会長) 若者ももっともっと政治に関心を持ってもらえると良い。

(会長) 未達成のところ集中して意見をもらったが、その他についてはどうか。アは生徒のアンケートで、数字で出るものであろう。「イ 生徒自身も明るく楽しい」、という数字か？

(経営企画課主任) アンケート項目 「3 勉強が楽しくなった」は各学年とも6割程度が肯定的で、否定的意見が1割。三年生は8割が勉強が楽しくなったと感じている。

(会長) 8割の生徒が勉強も含めて楽しんでいる。逆に言えば楽しんでいない生徒が不登校にならないように安全弁があれば良い。

キャリア教育のところだが、達成指標のところ、希望進路の実現は、まだ今年度のは出ない。となるとこういう達成指標のあり方になるのだろう。

オだが、いじめ防止、友人関係が良くなった、いじめはないだろうということか。生徒から見てどうか。

(生徒会長) 昨日、顧問の先生と、クラス替えの話になったが、2学年はいじめがないというのは、先生、生徒とも共通の認識である。クラス替えは最初は緊張しても馴染むからいいよね、という話になった。三高は助けてくれる人が多いので、三高に来てよかったなと思う。暖かみのある場所だと思う。

(校長) 間もなく出る生徒会誌『緑丘』のアンケートで、三高のいいところはダントツで人柄だった。いい人たちの集団だと生徒たちは思っている。

(会長) そういうこともあって生徒たちは三高に入学してよかったと思っているのだろう。

ウ 次年度に向けて

(会長) なんでもいいということで、改善してほしいことなどあれば。先ほど地域への要望も出たが、それ以外のところで。

(委員) 特にない。

(委員) 緑ヶ丘小学校との演劇は、学校だけでやるのか、町内会へも案内するのか。

(経営企画課主任) 今回は学校の中でやることになっている。小学校からぜひ高校生にというオファーをいただいたが、次年度以降、地域との交流も考えられるだろう。

(校長) 小学校へ対して、地域の方もそういう催しを見てみたいと伝えることはできる。

(委員) お知らせがあれば、ああやっているなどわかる。行事をやりますということも、町内会報などもあるので、お知らせがあればわかる。全くわからないので、参加もできないし、評価のしようもない。

(会長) 学校の様子は回覧板に入れているのか。上田小学校はやっている。

(委員) 確かにない。

(会長) 地方の学校では町内全戸に配布もしているが、その辺も考えてみてはということだろう。

(委員) 学びの場プロジェクト、という盛岡市の事業がある。地方創生のプロジェクト、地元の課題等、高校生がテーマを設けて課題解決に向けて取り組んでいる。今市内の7校が参加しているが、ぜひ三高の生徒にも参加してほしい。評価項目の「地域とともに」、になるのか、「キャリア教育」になるのかはわからないが、ぜひ利用してほしい。

(生徒会長) 個人的にはその場があるのは知っているし、参加している生徒もいたはずだ。

(会長) 生徒から改善点などあれば

(副会長) 私ごとになってしまうこともあるが、今年度は自分がやらなければならないことを整理してやる、という目標があったがそれは達成できた。しかし、高校に入学してから、周りに目を配れないことがあった。例えば朝学習の開始になっても話をしている場面があった。次年度は「周りに目を配る」を改善したい。それにより、今まで見えてなかった改善点が見つかるかもしれない。

(会長) 学校に希望する改善点はあるか。

(生徒会長) 昨年度より今年度が良くなったので特にないが、強いて挙げるとすれば、「マイプロジェクトアワードのような場に関わっていきたい」と一年次から思っていた。理数探究コースは全国規模で研究しているが、文系クラスでは政治経済の提案も生徒会執行部でないとできず、校内発表しか機会がない。規模の大きいところで発表する場があれば総合的な探究の時間にもっと意欲的に取り組めるのではないかなと思う。個人的にもチャレンジしたいが、学校でも挑戦していきたい。

(校長) 自分なりに調べてそういう場があると分かっているのか。

(生徒会長) 中3から個人的にプロジェクトをやっていて、その中でマイプロを知った。全国の面白い人たちに出会える。三高だけだと学力的にも同じ人たちなので、マイプロは新しい視点を得られる場として有意義だ。生徒会でないとできない、個人的でないとできない、というのはもったいない。

(会長) ぜひお願いしたい。

協議はこれで終了したい。ご協力ありがとうございました。

(5) その他

(経営企画課主任) 委員の皆様から何かないか。

次年度の委員のお願いについては ぜひとも継続でお願いしたい。後日改めて連絡させていただく。なるべく地域の方々や外部の方々の意見を取り入れたいので、校外の委員を増やしたいと思っている。適任者がいたらお声がけいただきたい。校内委員は減らしていく方向だ。

(6) 閉会の言葉

これで第3回学校運営協議会を終了する。